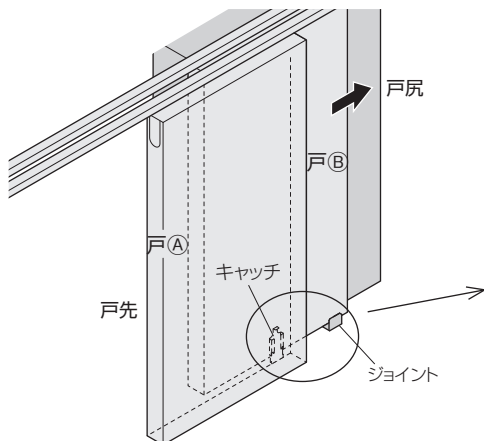


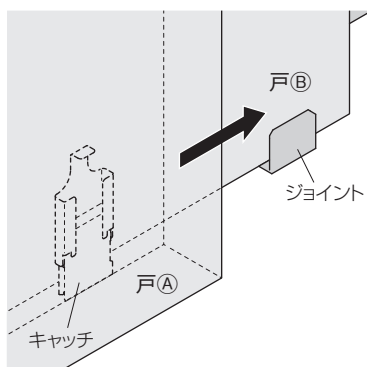
施工ガイド

■戸の連結

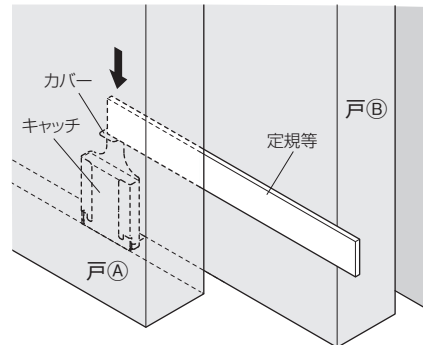
①戸Aと戸Bを戸尻側へ移動させます。



②戸Aのキャッチの溝を、戸Bのジョイントに横から挿入します。



③ドライバーや定規等でキャッチのカバーを下ろします。

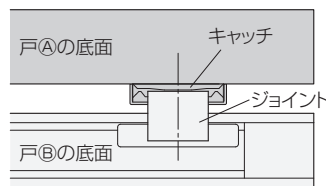


ご注意

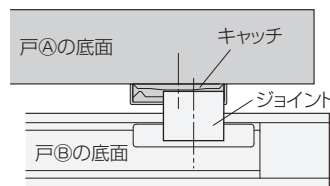
カバーが下りない場合は、キャッチの取付けねじが浮いていたり、ジョイントがキャッチの中心に納まっていないことが考えられますので、ご確認ください。
また、カバーを下ろさないで開閉すると、キャッチが破損したり、ジョイントがキャッチからはずれるおそれがありますので、必ずカバーを下ろしてから動作確認をしてください。



○ キャッチのセンターに納まっている。



✕ キャッチのセンターに納まっていない。



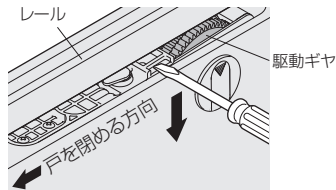
■クローザーユニットの設定

ご注意

初期状態では、自閉駆動力は適正ではありません。クローザーユニットの設定をする必要があります。
この操作は必ず、引戸を吊込んだ状態でこなしてください。

①戸を手動で閉めきってください。

②レールと戸の隙間から、駆動ギヤユニットをマイナスドライバーなどで押し下げると、駆動ギヤが回転します。回転が自然に止まると、ぜんまいの巻きがリセットされます。

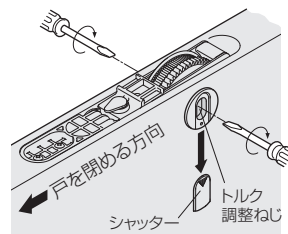


③化粧カバーのシャッターを下にスライドさせてはずします。

④マイナスドライバーで、駆動ギヤの側面にあるトルク調整ねじを、矢印の方向へ回します。4周回するのが標準の駆動力となります。

⑤調整後、シャッターを化粧カバーに嵌め込みます。

※調整ねじがこちら側にある場合



■クローザーユニットの調整

引戸が閉まりきらない場合

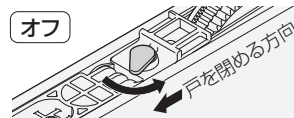
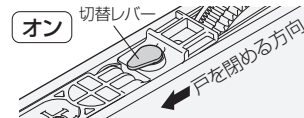
- 戸がどこかに干渉して、摩擦抵抗が発生している場合があります。戸に干渉する箇所がないようにしてください。
- レールのラックギヤと駆動ギヤのかみ合わせが合わず、空回りしている場合は、吊り車を上下に調整して、かみ合うようにしてください。
- 以上の問題が解消しても閉まりきらない場合は、上記「■クローザーユニットの設定」を参照し、トルク調整ねじを回して駆動力を強めてください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。

引戸を開ける時に重い勢よく閉まってしまう場合

- 上記「■クローザーユニットの設定」の手順を最初からおこなってください。調整する際は、戸が閉まる速度をこまめに確認しながら調整してください。
- ※駆動ギヤユニット保護の為、トルク調整ねじを弱方向に回そうとしても、ドライバーの歯が引っ掛からず、回せないようになっております。

■フリーストップ機能のオンとオフ

戸を閉めた状態で切替レバーを傾けると、フリーストップ機能をオフにすることができます。



ご注意

この操作は戸を閉めきった状態で行うようにしてください。それ以外の状態で操作を行うと、金物が破損する恐れがあります。

■操作説明シールの貼付け

すべての金物の調整が完了したら、引戸木口面の下側に「ご入居様向け操作説明」シールを台紙からはがして貼ります。



開き戸金具	1
引戸金具	2
上吊式引戸金具	3
AFD	
HR	
SD	
連動引戸	
オプション	
引戸錠	4
移動間仕切金具	5
室内用アルミ選具	6
折戸金具	7
取手・引手	8
スライド丁番	9
スライドワイヤーバスケット	10
収納・吊金具	11
その他の家具金物	12
物干金具・諸金具	13
設計施工ガイド	
会社案内	